

北海道が わかる つながる かわる

広報紙

ほっかいどう

特集 節電で、冬の暮らしを見直そう!

小さな工夫が、大きな節電に。 電気を大切に使う冬の暮らしを 北海道に根づかせましょう。

節電をきっかけに、冬の暮らしを見直してみませんか。
必要以上に電気を使わなくても、快適に過ごす工夫によって、
この冬の暮らし方が見えてくるかもしれません。



北海道
省エネ新エネ
キャラクターユニット
エネーズ

こまめさん

オール北海道による 節電の取り組みを!

厳しい電力需給により、昨年12月10日から、一昨年比で7%以上の節電を目指す冬の節電要請期間が始まっています。

昨年夏の節電では、道民の皆さんに家庭や企業などで節電に取り組んでいただき、計画停電を回避することができました。

しかし、夏以上の電力需要が続く冬の節電が肝心。道では、夏に続き冬も、暮らしや産業活動の安全を守る取り組みをオール北海道で進めていきます。道民の皆さんのご協力をよろしく願いいたします。



ネオンくん



セーブくん

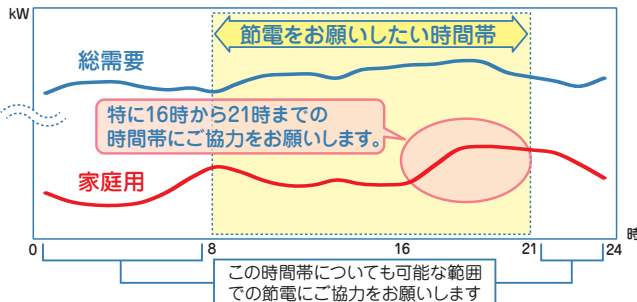
健康に影響のない範囲で、ご協力をお願いします。

次の期間と時間帯、一昨年比で7%以上の節電をお願いします。

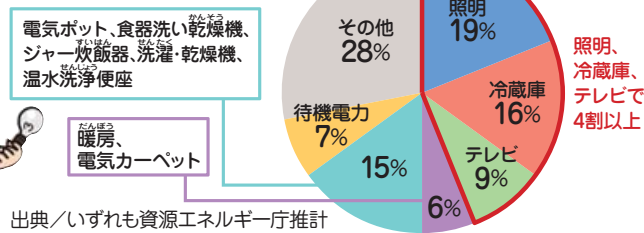
- 1月7日(月)～3月1日(金) 平日 8～21時
- 3月4日(月)～3月8日(金) 16～21時

ご家庭では、特に電気使用量が増える
夕方以降(16～21時)のご協力をお願いします。

冬の北海道における平日の電気の使われ方(イメージ)



北海道の家庭における冬の19時ごろの消費電力の割合



出典/いずれも資源エネルギー庁推計

電気製品の使い方を工夫して 節電に取り組みましょう。

冬の北海道で、もしも電力不足が起こると、私たちの暮らしの安全にいろいろな影響が考えられます。そうした事態を避けるため、できる限りの節電にご理解をお願いします。

冬は一日を通じて高い電力需要が続く傾向にあるため、夏よりもきめ細やかな節電の心がけが大切です(左図)。また、使用量全体に大きな割合を占める家庭用の電力が、夏場より60%程度増加することから、家庭での電気の使い方を工夫することが非常に重要です。

皆さんも、夏の節電を通じて芽ばえた節電・省エネ意識をさらに高め、照明、テレビ、冷蔵庫などの使い方を見直し、この冬も可能な限り節電の取り組みをお願いします。

冬の暮らしの安全確保に向けて、一人ひとりが節電を

道民、企業の皆さまへ

この冬、本道においては、一昨年に比べて7%以上の節電が要請されています。

北海道の電力事情は、他の地域に比べ、発電設備1基の占める割合が大きいことや、本州との間での電力融通に制約があることなど、他の電力管内とは異なる条件のもとで、単なる需給ギャップ以上に厳しい状況にあります。

また、家庭における暖房や道路のロードヒーティングなど、冬の暮らしの安全には電気の使用が欠かせず、停電の発生は、道民の皆さまの生命・身体の安全にも重大な影響を及ぼしかねません。

冬の節電が夏以上に厳しいことは十分に承知しておりますが、どうか、本道の置かれている、こうした極めて厳しい状況をご理解いただきたいと思ひます。

皆さまにおかれては、体調を崩されないよう十分にご留意いただきながら、一つひとつの取り組みの積み重ねが、決して起きてはならない冬の停電を回避していくために不可欠であると思ひのもと、皆さまの実情に応じた、できる限りの節電にご理解とご協力をいただきますよう、心よりお願いいたします。

北海道知事 斎藤 ひとみ

具体的な節電のポイントを見よう!



コウホウ氏

詳しくは
中面へ



【特集】節電で、冬の暮らしを見直そう!

やってみよう! 家庭でできる 節電メニュー

家族みんなで声をかけ合い工夫して、合計7%以上の節電にチャレンジしてみましょう。それぞれのご家庭で、無理なくできる範囲でご協力をお願いします。



「省エネアクションチャレンジ」実施中!
道では、「Save(節約)」「Select(選択)」「Shift(転換)」の3つの「S」をキーワードに、省エネ行動を呼びかけるキャンペーンを行っています。2月分まで実施中の「省エネアクションチャレンジ」にぜひご参加ください。

省エネアクションチャレンジ

道内にお住まいの方で、前年同月以前より電気・ガスを契約されている方のうち、次の省エネを達成したご家庭に、もれなく図書カード(500円分)を差し上げます。

2012年12月分、2013年1月分、2月分の	
電気使用量	前年同月比で 5%以上削減
ガス使用量	前年同月比で 少しでも削減

- さらに抽選で、企業からの協賛品「えこ之助賞」をプレゼント。
 - 7%以上節電したご家庭に、抽選で「節電特別賞」をプレゼント。
- 協力/北海道地域電力需給連絡会

図書カードは、1世帯につき、電気・ガスそれぞれ1回とさせていただきますが、図書カードを受け取った次の月以降も「えこ之助賞」と「節電特別賞」に当選するチャンスがあります。

〈応募方法・お問い合わせ先〉

電気またはガスの検針票(コピー可)を同封して、下記の事務局にお送りください。詳しくは、事務局にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

●応募締切(当日消印有効)
 平成24年12月分:平成25年1月15日(火)
 平成25年 1月分:平成25年2月15日(金)
 平成25年 2月分:平成25年3月15日(金)

〒060-8545 札幌市中央区大通西5丁目11-1 札幌通北海道内
 省エネアクションチャレンジ事務局
 ☎(011)214-5142

※土・日・祝を除く10～17時
環境忍者 えこ之助



照明

節電効果(削減率) **6%**

不要な照明をできるだけ消しましょう。

節電量の目安(いずれも1日1時間 点灯時間短縮、月あたり)

白熱電球(54W)の場合	1.6 kWh	節約目安 約39円
省エネLED電球(12W)の場合	0.4 kWh	節約目安 約9円

プラス+ ◎白熱電球を省エネLED電球に交換することは有効です。
◎照明器具が汚れると明るさが低下するので、こまめに掃除しましょう。

テレビ

節電効果(削減率) **3%**

画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消しましょう。
※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合。

節電量の目安(いずれも1日1時間 見る時間短縮、月あたり)

液晶(32インチ)の場合	1.4 kWh	節約目安 約33円
プラズマ(42インチ)の場合	4.7 kWh	節約目安 約112円

プラス+ ◎画面はほこりがつきやすいので、こまめに掃除しましょう。

冷蔵庫

節電効果(削減率) **2%**

食品を詰め込みすぎないようにしましょう。

扉を開ける時間をできるだけ減らしましょう。

冬の間、冷蔵庫の設定を「中」もしくは「弱」にしましょう。ただし食品の傷みにご注意ください。

節電量の目安(月あたり)

詰め込んだ状態→半分の場合	3.7 kWh	節約目安 約87円
20秒開ける→10秒の場合	0.5 kWh	節約目安 約12円
設定が強→中の場合	5.1 kWh	節約目安 約122円

プラス+ ◎庫内のカーテンも効果的です。

待機電力

節電効果(削減率) **2%**

リモコンではなく、本体の主電源を切りましょう。

長時間使わない機器は、コンセントからプラグを抜きましょう。

節電量の目安(月あたり)

プラグを抜くなどした場合 **9.5 kWh** 節約目安 約225円

温水洗浄便座

節電効果(削減率) **1%**

使わないときはふたを閉めましょう。

便座保温・温水の設定温度を下げましょう。

節電量の目安(月あたり)

ふたを閉めた場合 **2.9 kWh** 節約目安 約69円

プラス+ ◎タイマー機能や節電モードを使って、使わない時間帯は切るようにしましょう。

消費電力を確認し、使い方を直すと、節電効果を実感できます。

地球温暖化防止につながる節電の取り組みは、これまでも試行錯誤しながら実践してきましたが、昨年の夏に電気温水器の温度設定などを見直したところ、前年同月に比べ23%の節電に。小さな工夫の積み重ねが、大きな省エネにつながることを家族みんなで実感しました。家電の使い方を見直すきっかけとしては、機器のラベル表示やワットメーターで実際の消費電力を確認するのがおすすめです。また、「こんな方法で節電できた」という実践例を家庭や職場で情報共有することで、楽しみながら続けることができると思います。

北海道地球温暖化防止活動推進員 宮森 芳子さん(札幌市)

その他の節電・省エネポイント

北海道省エネ新エネキャラクターユニット エネーズ

セーブくん、ネオンくん、こまめさん

洗濯機

洗濯物は容量の80%を目安にできるだけまとめて洗きましょう。
風呂の残り湯を利用しましょう。

電気ポット

●長時間の保温はやめましょう。
●寝るときや外出するときは、プラグを抜きましょう。

暖房

●暖房時の室温は20℃を目安に。温度を上げる前に、重ね着などで工夫しましょう。
●暖房機器のフィルターが汚れると消費電力が増えるので、こまめに掃除しましょう。
●床まで届く長さで厚手のカーテンをすると、暖房効果が上がります。
※体調にご留意いただき、無理のない範囲でお願いします。

赤れんが

道からのお知らせです。お問い合わせは、マークの窓口、またはホームページへ。

消防団に参加しませんか

あなたの大切なまちを守りましょう

消防団は市町村の消防機関で、会社員や自営業者、主婦、大学生など、18歳以上の方なら性別・職業を問わずどなたでも参加できます。日ごろは放水訓練や地域の防災意識を高める啓発活動などを、災害時には消火活動や避難誘導などを行っています。女性団員も応急手当の方法の普及などで活躍中です。興味のある方は、お近くの消防本部・消防署へお問い合わせください。

▶道庁危機対策課 ☎(011)204-5009

除雪などによる被害防止

北国の冬を安全に過ごしましょう

毎年、屋根の雪下ろしや落水雪による死傷事故が発生しています。次のことに注意し、除雪などによる被害を防ぐようお願いします。

- 屋根の雪下ろしをするとき
 - ・ひとりでせず、複数で行う。
 - ・滑り止めや、命綱をつける。
 - ・通行人や子どもに注意。
- 除雪機を使用するとき
 - ・機械に巻き込まれにくい服装で。
 - ・トラブル時にはエンジンを停止。
 - ・通行人や子どもに注意。
- その他の注意
 - ・除雪をするときは体調に注意する。
 - ・屋根の下を通るときは、落雪やつららに気をつける。
 - ・暴風雪、大雪警報などの気象情報に注意。

▶道庁危機対策課 ☎(011)204-5007

麦チェン! ぜひ知ってください

道産小麦を食べて応援しましょう

道では、道産小麦の安定した生産と供給、さらには消費者のニーズに応える商品の開発を推進するため、生産から流通・加工、消費までの関係者が一体となり、輸入小麦から道産小麦への利用転換を図る「麦チェン!」に取り組んでいます。最近では、道内初の超強力小麦「ゆめちから」が登場し、パンやパスタ、中華めんに適した新品種として期待が高まっています。また、道産小麦を使用した商品を販売・提供しているお店を「麦チェンサポーター店」として登録しており、道産小麦の魅力や消費者の皆さんに発信しています。ロゴマークを目印に、道産小麦のおいしさをぜひ味わってください。

▶道庁食品政策課 ☎(011)204-5427

警察への通報と相談について

緊急通報は110番、相談は#9110

110番は、事件・事故などが発生した場合に、警察へ緊急通報をするための電話番号です。緊急以外の場合は次へお問い合わせください。

●要望・意見、相談	#9110
●各種照会、要望・意見、相談	お近くの警察署、交番・駐在所

▶道警本部通信指令課 ☎(011)251-0110(内線3616)

旭川美術館開館30周年記念 木の造形100選

開館以来、コレクションの重要なテーマである「木の造形」から、名作100点を紹介。30年の収集の成果をご覧ください。

◎期間/1月22日(火)～4月7日(日)
◎休館日/月曜日(2月11日は開館)、2月12日(火)
◎時間/9時30分～17時(入場は16時30分まで)
◎観覧料/一般500円、高校・大学生300円、65歳以上の方と中学生以下は無料
▶道立旭川美術館 ☎(0166)25-2577

発信します!

道内各地の話題をお届けします。

総合振興局 & 振興局

空知総合振興局 「そらち『そらいち』総選挙」にご参加を

「そらち知名度アップキャンペーン事業」のひとつとして、雪まつり開催期間中の札幌で「そらち『そらいち』総選挙」と題した投票イベントを実施します。

空知管内の各自治体でエントリーした観光スポットやグルメ、特産品などを「遊ぶ」「味わう」「体験する」の3部門に分け、それぞれについて、「そらちナンバーワン(そらいち)」を決定するための投票を行っていただきます。ぜひご参加ください。

【期間】2月5日(火)～11日(月・祝)
【場所】札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)
▶地域政策課 ☎(0126)20-0034

宗谷総合振興局 めざSO-YA!!「てっぺん」2013 in Sapporo

宗谷地域では、地域の魅力を伝える取り組みとして、「北海道・宗谷管内 地域資源ガイドブック」を通じて、イベントや見どころ、グルメなどの情報を発信しています。2月には札幌でPRイベントを行い、温泉ニ体験や特産品の販売など管内の魅力を紹介します。ご当地キャラクター撮影会や抽選会などもありますので、ぜひご来場ください。

【期間】2月9日(土)・10日(日)10～17時
【場所】サッポロファクトリー(札幌市中央区北2東4)
▶地域政策課 ☎(0162)33-2509

オホーツク総合振興局 「オホーツク流氷トラスト運動」を展開中

オホーツク地域では、地球温暖化等の影響で流氷が減少していることから、「流氷を守る」を合言葉に環境保全活動に取り組んでいます。取り組みのひとつとして、毎年2月3日曜日を「オホーツク流氷の日」に制定(こしは2月17日(日))。環境問題を考える象徴的な日として、キャンドルアートなどのイベントを実施しています。皆さんも流氷を見て、流氷に触れて、地球環境に思いをめぐらせてみませんか。

▶地域政策課 ☎(0152)41-0620

育児の楽しさを
地域みんなで分かち合う。
もちろんパパも参加して!!

育児×父親
育兒ネットめむろ
【芽室町】

芽室町では、会員同士で子どもを預けたり、預かったりできる育児サポートシステムを平成10年から実施。その会員200人以上で組織される「育兒ネットめむろ」は、保健福祉センターに事務局を置き、一時託児、子供服や育児用品のリサイクル、子連れで参加できる茶話会などを実施して、育児を支援しています。

さらに、父親をもっと子育てに参加しやすくする「パパ・スイッチ事業」で父親も応援。セミナーやイベントを通して子育てに目覚めた父親同士の交流も深まっています。



料理教室でパパと一緒にピザ作りに挑戦!

3人目の子が生まれるときに2週間、育児休暇を取りました。道内の郵便局員では育休男性第1号らしいです。厚生労働省の「イクメンの星」に選ばれた方がお隣さんで、僕もかなり影響を受けていますが、ママ友の中に解け込んでいる姿を見て、自分はまだまだと感じます。家事や子育てを手伝うことで、専業主婦には「休み」がないことを実感。母親の大変さや気持ちを、もっと自分のことのように理解できるようになりたいですね。

▶お問い合わせ 育兒ネットめむろ ☎(0155)62-0833

母親の大変さ、
気持ちも理解できるように。



パパ・スイッチ事業
メンバー
木村真之さん

つながる! ひろがる!

北海道物語

子育てで連携編

さまざまな人が交流して子育てをサポートする、魅力ある取り組みをご紹介します!

子育て×読み聞かせ

読み聞かせの会「びっくり箱」
【新冠町】

子どもたちに「絵本とふれあえる機会をもっとつくてあげたい」と、子育て中からお孫さんがいる年代までの女性が集まり、30年以上も読み聞かせを続けている「びっくり箱」。現在は新冠町レ・コード館図書プラザで毎月2回実施しています。

特に、手づくりの大型絵本や人形劇など、大がかりな仕掛けで行う「お楽しみ会」は、「物語の中に入り込めて印象に残る」と子どもたちに好評で、町内の認定子ども園をはじめ、日高町、平取町、むかわ町、新ひだか町など、近隣の子育て支援センターや保育所にも出向いて公演しています。



大型絵本に、子どもたちもびっくり!

子どもたちが夢中になる大型の絵本は、やっている私たちも楽しいですね。この読み聞かせがきっかけで、絵本のおもしろさを知ったり、作者への興味を広げてくれるとうれしいです。

毎年、冬に開催する「お楽しみ会」は、町外の方も楽しみにしていて、近隣町で公演するきっかけにもなりました。いま、オリジナル作品を子どもたちに残したくて、新冠の伝説を掘り起こしている最中です。

▶お問い合わせ 新冠町レ・コード館図書プラザ ☎(0146)45-7777

新冠の伝説を掘り起こし、
オリジナル作品をつくりたい。



読み聞かせの会
「びっくり箱」代表
武田明美さん

知ってる? 北海道自慢

北海道が始まりのものやナンバーワンには、こんなエピソードがありました。

酪農家を救った わが国初のチーズ工場。

チーズ専門工場発祥の地 安平町

日本のチーズづくりは開拓使時代から道内で始まりましたが、生産量は少なく、昭和初期まで輸入品がほとんどでした。



操業当初の遠浅チーズ工場働く人々

本格的な国産チーズの誕生は1933(昭和8)年。北海道製酪販売組合連合会(現在の雪印メグミルク)はデンマークで修業した藤江才介を工場長に、わが国初のチーズ専門工場を安平村遠浅地区(現在の安平町遠浅)に建設。火山灰地の開拓に苦しむ酪農家の経営を救い、食卓にチーズが普及しました。

写真・資料提供:安平町まちづくり推進課、雪印メグミルク(株)

それゆけ! 赤チャレ!

道の人材や施設を活用し、特別な予算を使わずにサービス向上を目指す「赤レンガ・チャレンジ事業」(ゼロ予算事業)の取り組みを紹介します。

「どさん子元気アップチャレンジ」で
子どもたちの体力向上を応援しています。

このチャレンジは、道内の公立小・中学校の児童生徒を対象に、手軽な運動で記録に挑戦しながら体力向上を目指してもらおうものです。種目は短縄跳び、ぞうきんがけリレー、スキーウォーキング・チャレンジなど14あり、休み時間や夏・冬休みを利用してチャレンジしている学校もあります。

参加方法や上位の記録はホームページで紹介しています。また、各種目の3位まで表彰状を授与しています。



短縄跳びの記録にチャレンジ!

どさん子元気アップチャレンジ

▶教育庁健康・体育課 ☎(011)204-5752

お知らせ BOX

北海道の情報を分野別に集めた ポータルサイトが新しくなりました。

北海道のホームページの情報などから、皆さんに関心の高い分野を集めたポータルサイトが新しく、より使いやすくなりました。

約670のホームページとリンクし、食・グルメ、観光、医療など分野別の情報に加え、子育て世代や子ども向けなど世代別の情報も掲載。

道外の方に向けて観光スポットや移住・定住についても紹介します。名前は「DoLink」です。ぜひご利用ください。



ホームページアドレス

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/portal/index.htm>

▶道庁広報広聴課 ☎(011)204-5110

アンケートに答えて道産品を当てよう!

北のめぐみプレゼント!

応募者の中から抽選で30名様に、釧路産本しゃも(オス)のくん製、釧路市漁業協同組合の「Mr.しゃもくん製風味」(3尾入×10袋)をプレゼント!



●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

次のアンケートにお答えください。

「特集」で紹介した節電メニューで、ご家庭で取り組んでいる(または取り組もうとしている)節電メニューはどれですか。(いくつでも選択可)

①照明 ②テレビ ③冷蔵庫 ④待機電力 ⑤温水洗浄便座 ⑥その他

●応募方法: アンケートの回答、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募先: ハガキ 〒060-8588 北海道広報広聴課
「北のめぐみプレゼント!」係

携帯サイト



●応募期限: 1月31日(木)必着

応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

※11月号のプレゼント募集には3,761件の応募をいただきました。

北海道の人口	平成24年9月末	前年同月比
総人口	5,475,783人	25,248減
男	2,593,463人	14,699減
女	2,882,320人	10,549減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

UD
FONT

見やすい
ユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。

R270
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

VEGETABLE
OIL INK

次号の
お知らせ 3月号は3月6日(水)
から配布予定です。

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧は下記からアクセスできます。

広報紙「ほっかいどう」